

## 令和4年定例6月会議一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
黒 崎 政 美	<p><b>大島分校改修事業について</b></p> <p>老朽化した大島分校体育館の改修工事、校舎改修設計を実施し安全確保のため118,000千円計上されている。</p> <p>① 10年弱で児童数が0になる。その後のことは考えているのか。</p> <p>② 将来のビジョンを描いているならそれをお示し願いたい。</p> <p>③ 補助金は、国・県で何%か。過去の実績はどうか。国・県の言うことを鵜呑みにしていると地方分権は育たないと有識者より指摘されているが、どう思うか。</p> <p>④ 大島地区は教育に非常に熱心で、学校での行事には地区全体で参加しているなど全国でもめずらしい地区といわれている。町長は把握しているのか。</p> <p><b>獣医師の問題について</b></p> <p>獣医師についてだが、最近、獣医師がなかなか定着しないと聞くがどうなっているのか。</p> <p>全町民にとって、診療所の医師確保は勿論重要であるが、畜産農家にとって、獣医師確保は重要で死活問題であり、切実な問題である。町長の認識を問う。</p>	町 長
今 田 光 弘	<p><b>若い移住者を増やすための子育て・教育環境の充実について</b></p> <p>全国的に人口減少・少子高齢化の中、多くの自治体が移住者を増やすためのいろいろな施策に取り組み、地域間競争は激化している。</p> <p>そのような状況の中、本町は2年連続で「社会増」という素晴らしい実績を残しているのは、町執行部の努力の結果だと言える。しかし残念ながら、若い移住者、子育て世代の移住者はそう多くはない。</p> <p>若者が移住先を決める条件として、子育て環境と教育の充実が重要なポイントだと言われている。</p> <p>本町でもそのための様々な取り組みや支援制度が年々</p>	町 長

充実してきているが、さらにもう一歩進んだ施策に取り組むことで、移住者のみならず、町民一人ひとりが胸を張れる「魅力ある小値賀町」になるのではないか。

財政状況も厳しい中ではあるが、これらの施策は全国的には決して珍しいわけではなく、本町の将来を考えるとむしろ優先すべき重要な施策だと思う。

- ① 小中学校の給食費の保護者負担分を町が全額支援してはどうか（学校給食費の無償化）。
- ② 子どもの医療費を町が全額助成してはどうか（子ども医療費の無料化）。
- ③ これらの施策を様々なメディアを利用して強くアピールしてはどうか。
- ④ 執行部としての教育委員会の業務は広く深く広範囲にわたる。教育に力を入れている本町であるからこそ正職員を増やして施策を十分に展開し、本腰を入れて若い移住者を増やす努力をすべきではないか。